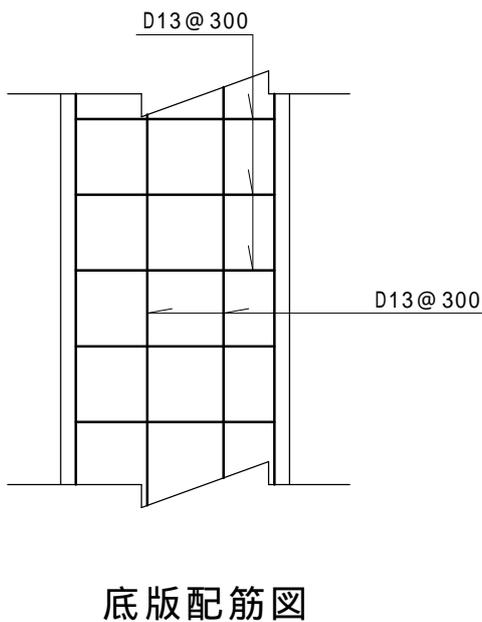
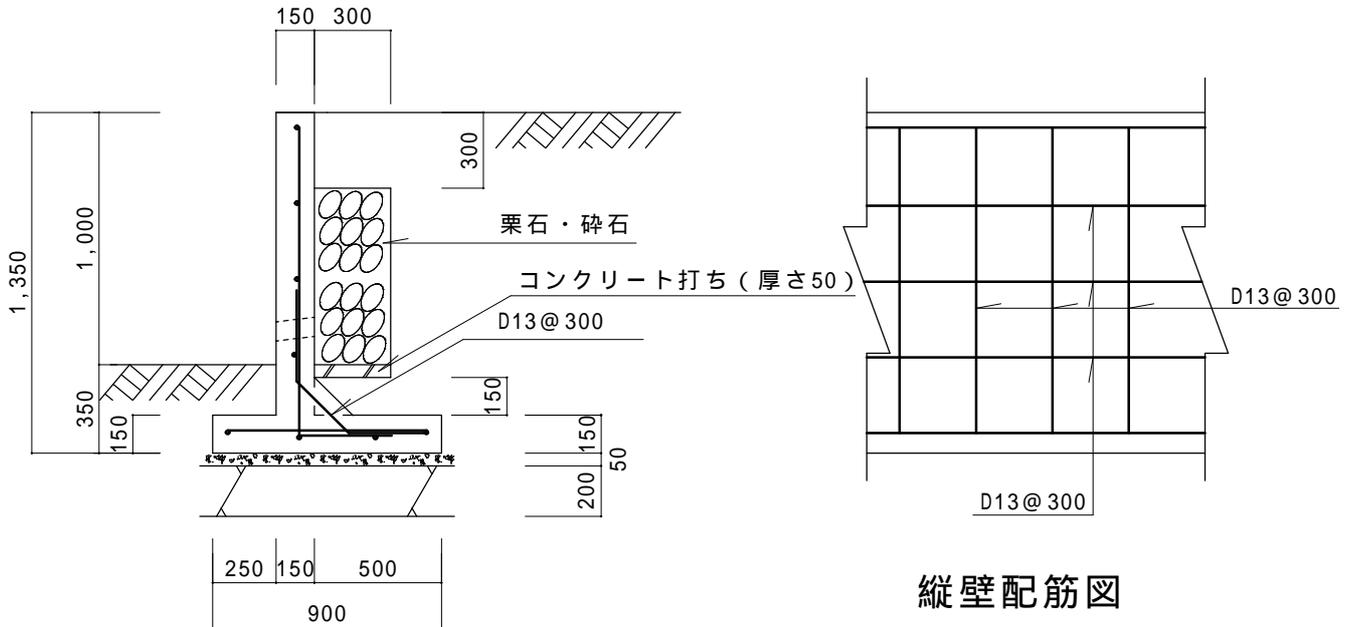


# L 型擁壁 高さ 1 . 0 m 砂質土

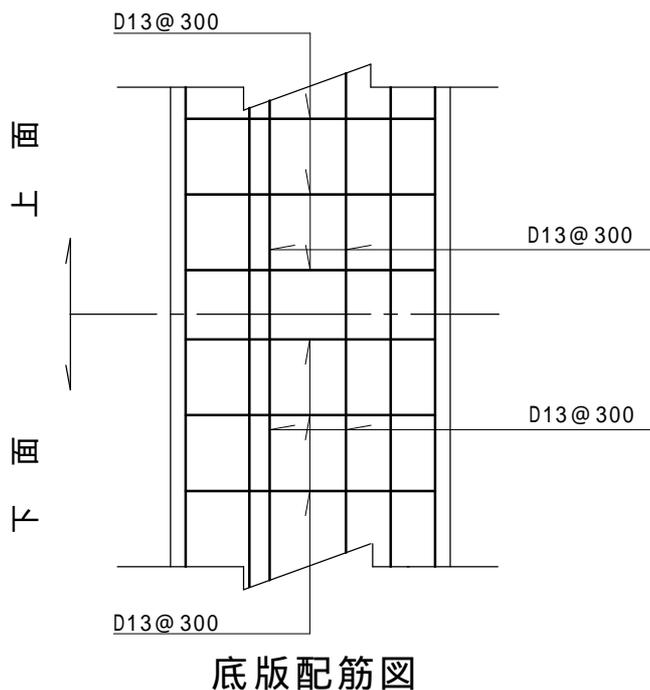
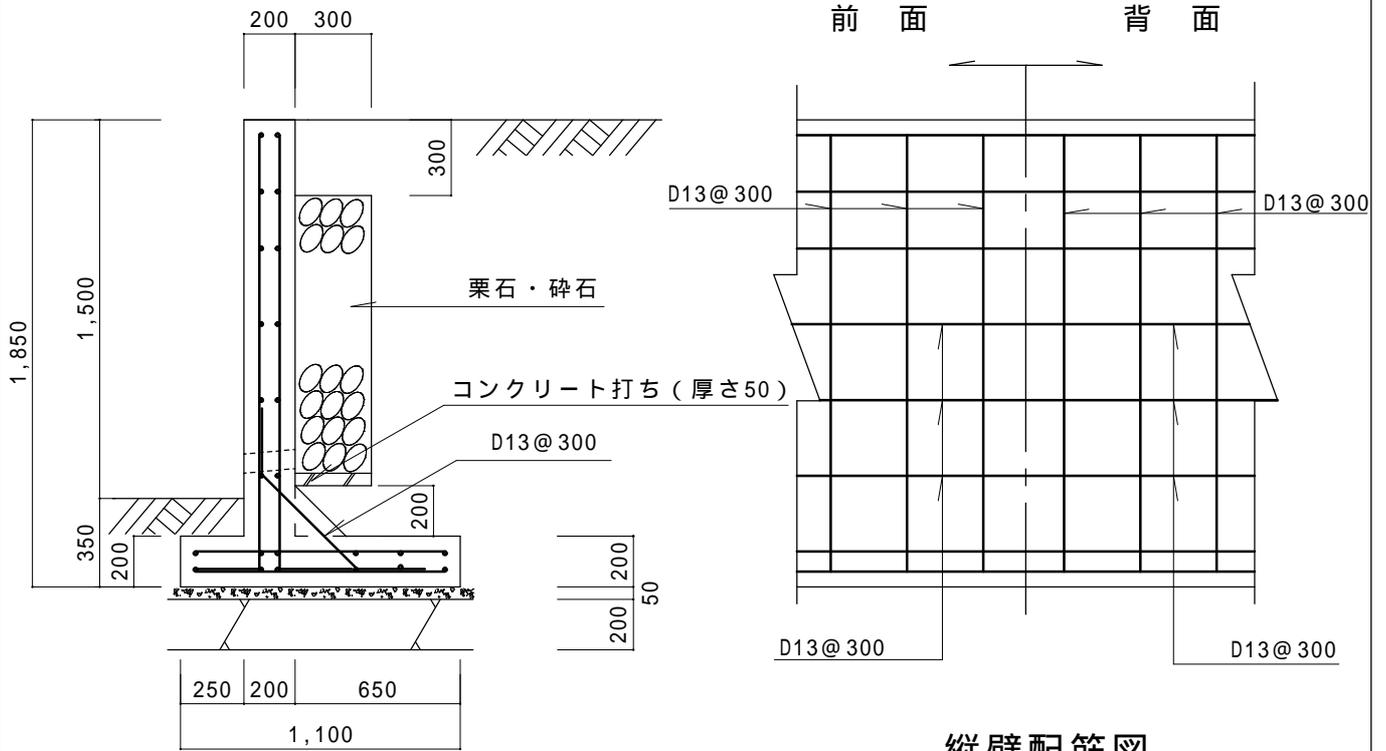
縮尺 1 / 3 0  
単位 mm



- 条 件
- 1、地耐力 50 KN / m<sup>2</sup>以上
  - 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN / m<sup>3</sup>
  - 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>
  - 4、水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いた  
もので3m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設ける  
こと。また、水抜孔の入口には吸い  
出し防止材等を設置すること。
  - 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N / m<sup>2</sup>以上
  - 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N / m<sup>2</sup>以上
  - 7、上載荷重 10 KN / m<sup>2</sup>

# L型擁壁 高さ1.5m 砂質土

縮尺 1/30  
単位 mm

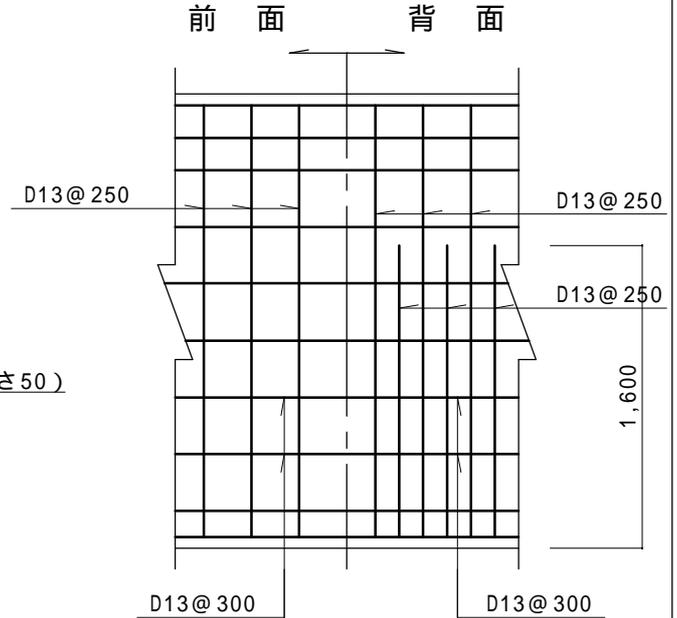
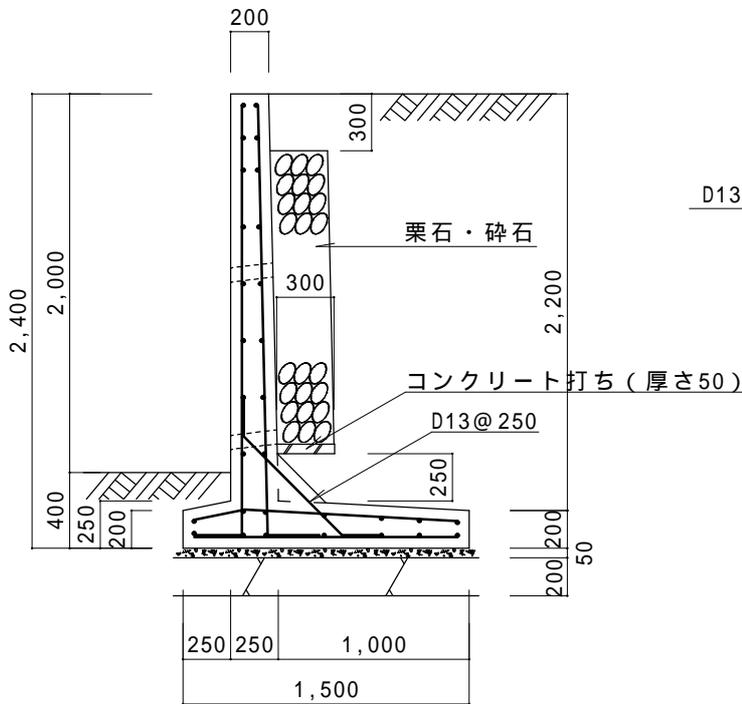


条 件

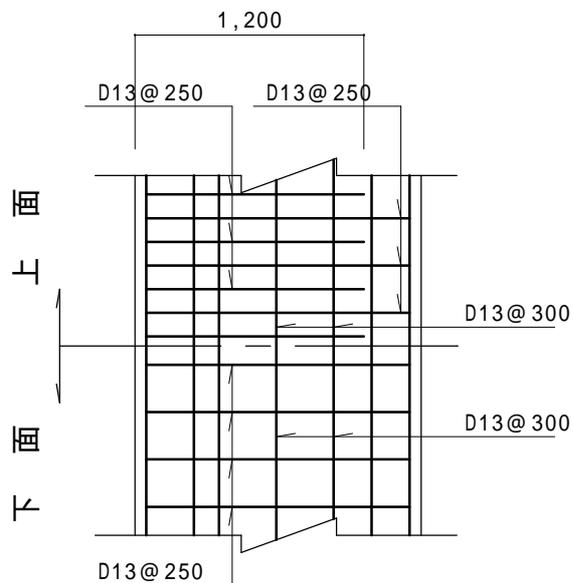
- 1、地耐力 70 KN/m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN/m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN/m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN/m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いた  
もので3m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設ける  
こと。また、水抜孔の入口には吸い  
出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N/mm<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N/mm<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN/m<sup>2</sup>

# L 型擁壁 高さ 2 . 0 m 砂質土

縮尺 1 / 4 0  
単位 mm



縦壁配筋図



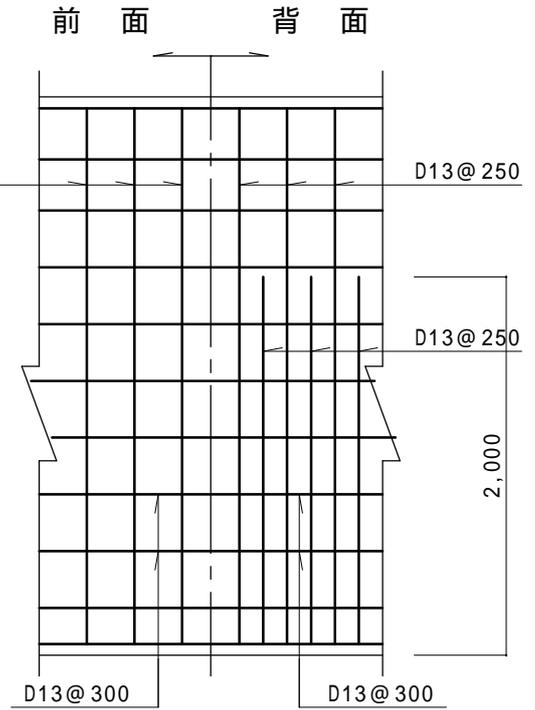
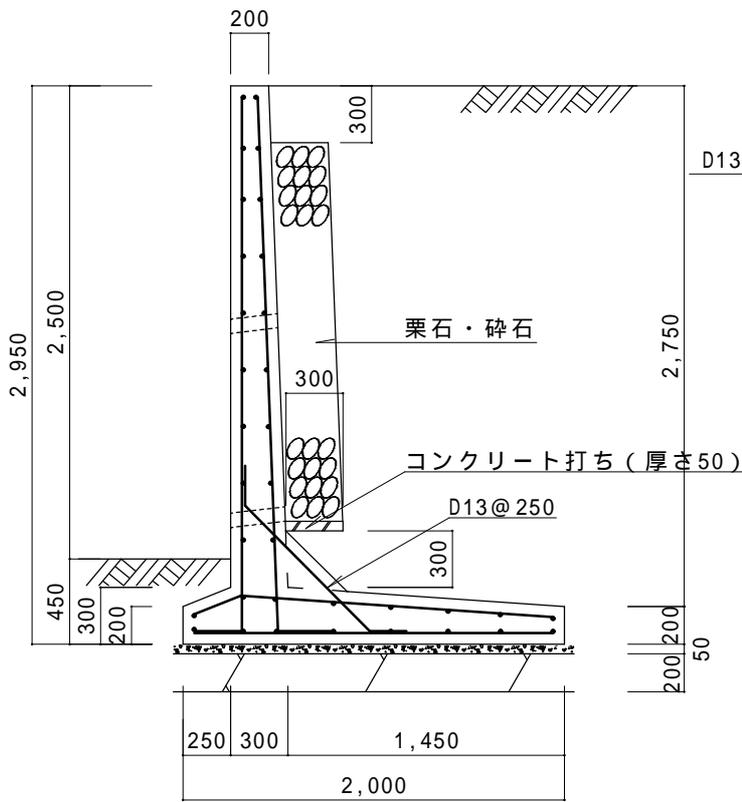
底板配筋図

条 件

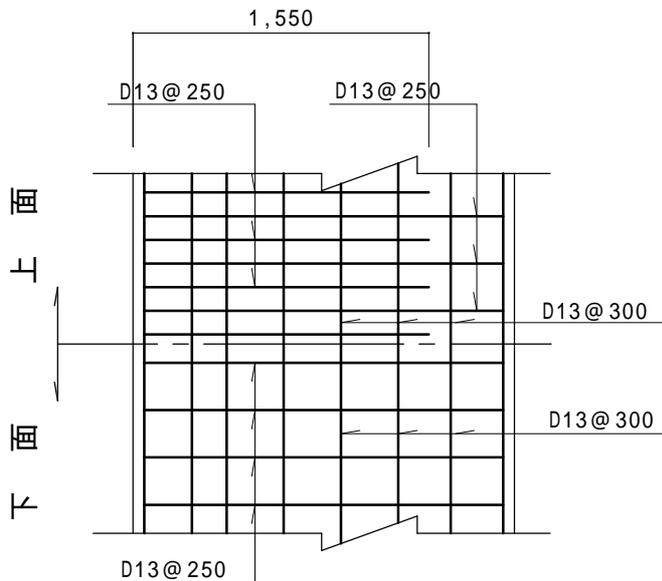
- 1、地耐力 100 KN / m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN / m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いた  
もので3m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設ける  
こと。また、水抜孔の入口には吸い  
出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N / m<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N / m<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN / m<sup>2</sup>

# L 型擁壁 高さ 2 . 5 m 砂質土

縮尺 1 / 4 0  
単位 mm



縦壁配筋図



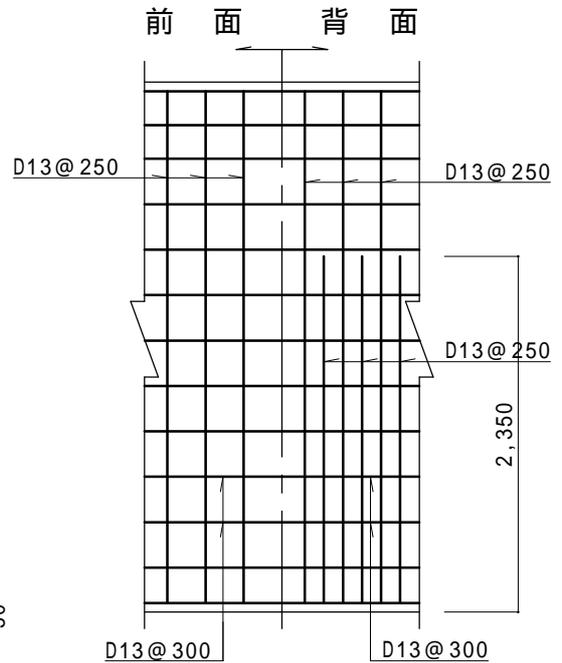
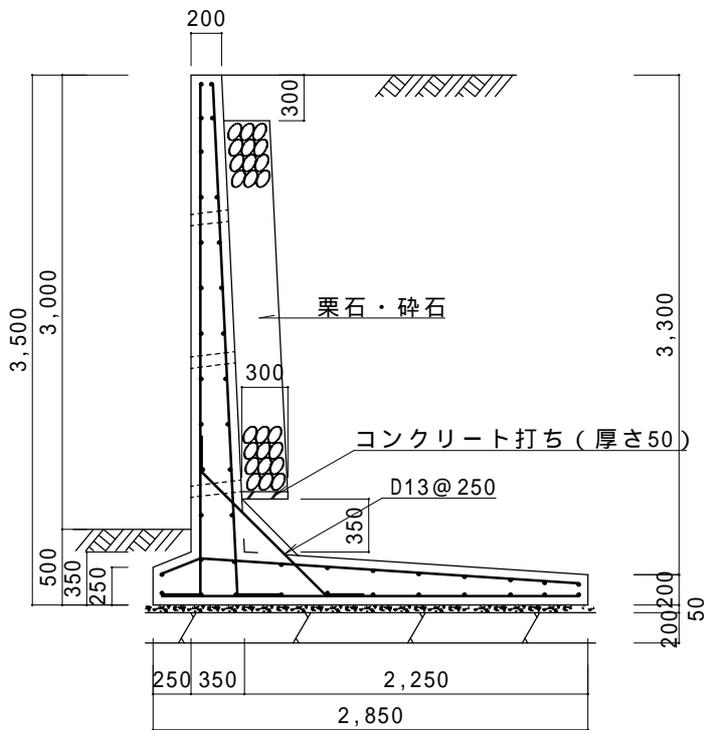
底板配筋図

条 件

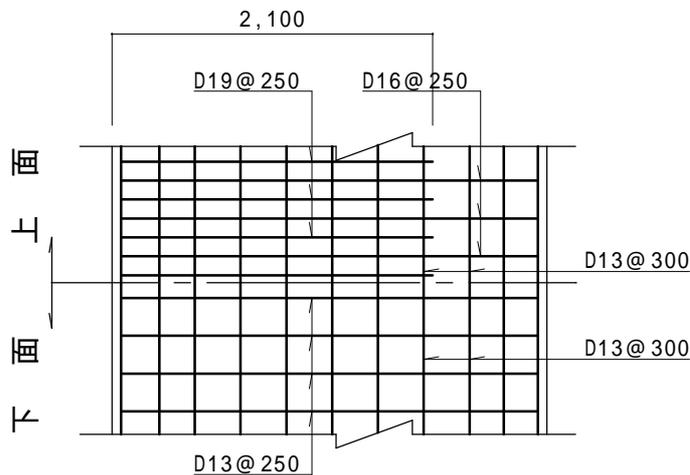
- 1、地耐力 100 KN / m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN / m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75 mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いたもので3 m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設けること。また、水抜孔の入口には吸い出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N / m<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N / m<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN / m<sup>2</sup>

# L 型擁壁 高さ 3 . 0 m 砂質土

縮尺 1 / 5 0  
単位 mm



縦壁配筋図



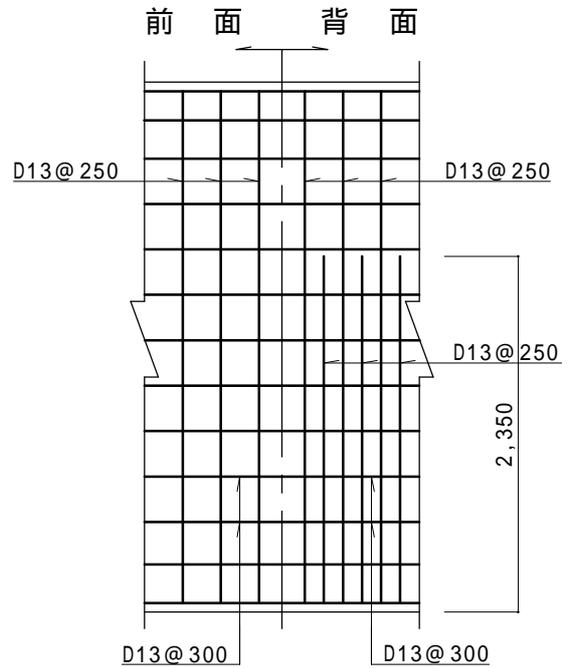
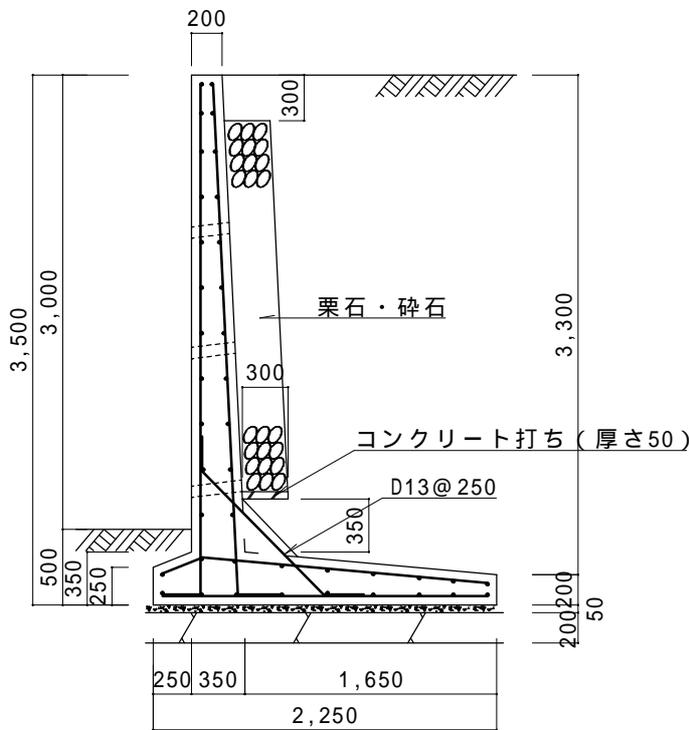
底板配筋図

条 件

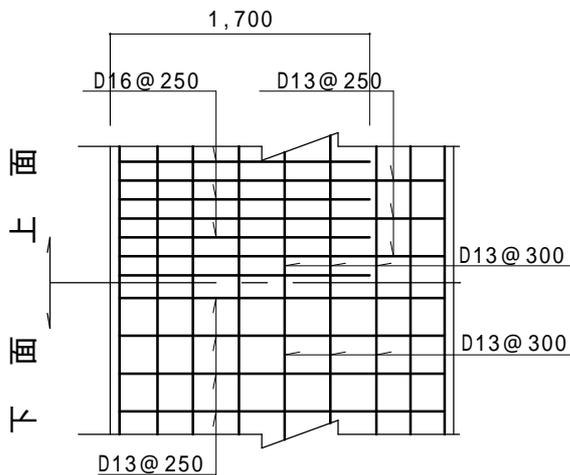
- 1、地耐力 100 KN / m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN / m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75 mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いたもので3 m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設けること。また、水抜孔の入口には吸い出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N / m<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N / m<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN / m<sup>2</sup>

# L型擁壁 高さ3.0m 砂質土

縮尺 1 / 5 0  
単位 mm



縦壁配筋図



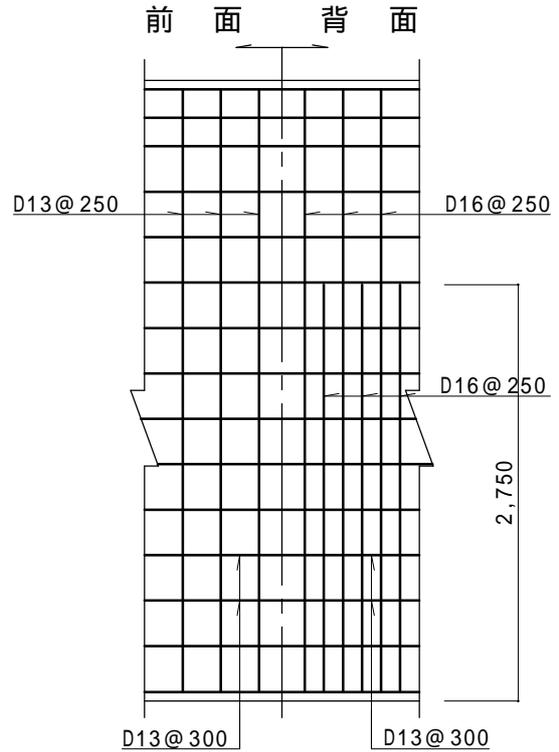
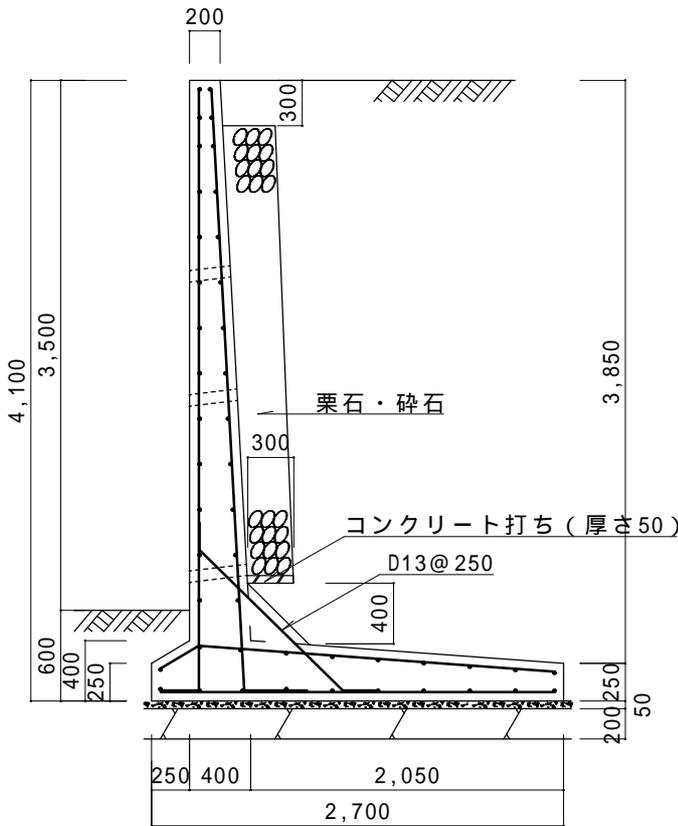
底板配筋図

条 件

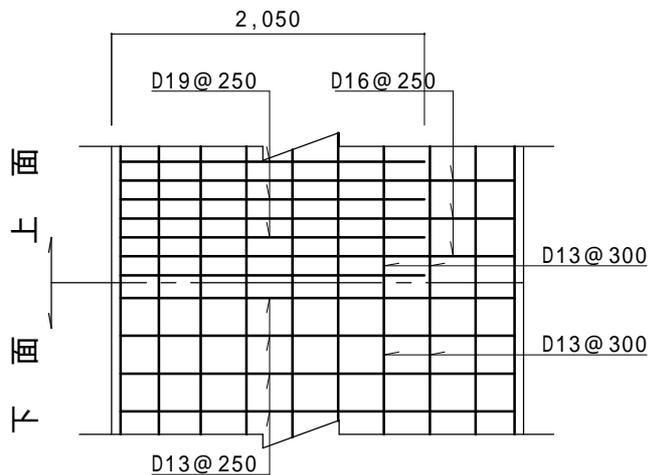
- 1、地耐力 140 KN / m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN / m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いた  
もので3m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設ける  
こと。また、水抜孔の入口には吸い  
出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N / m<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N / m<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN / m<sup>2</sup>

# L型擁壁 高さ3.5m 砂質土

縮尺 1/50  
単位 mm



縦壁配筋図



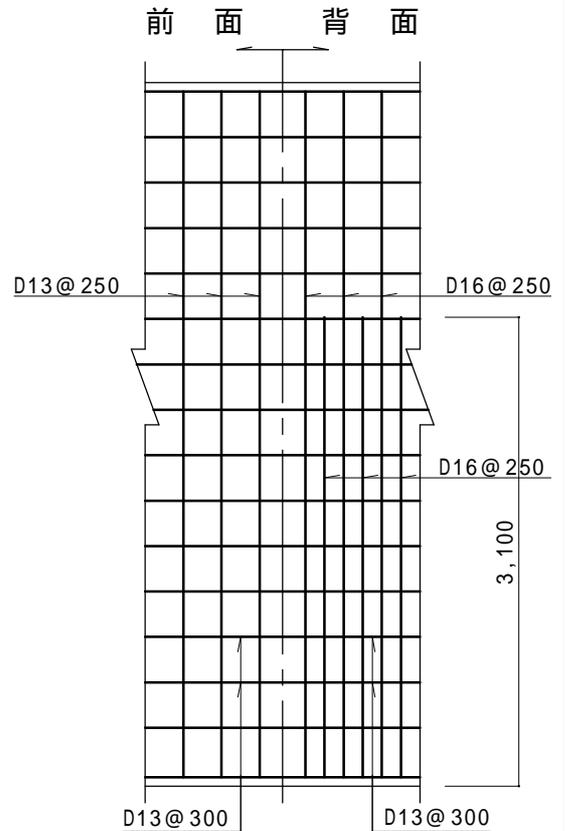
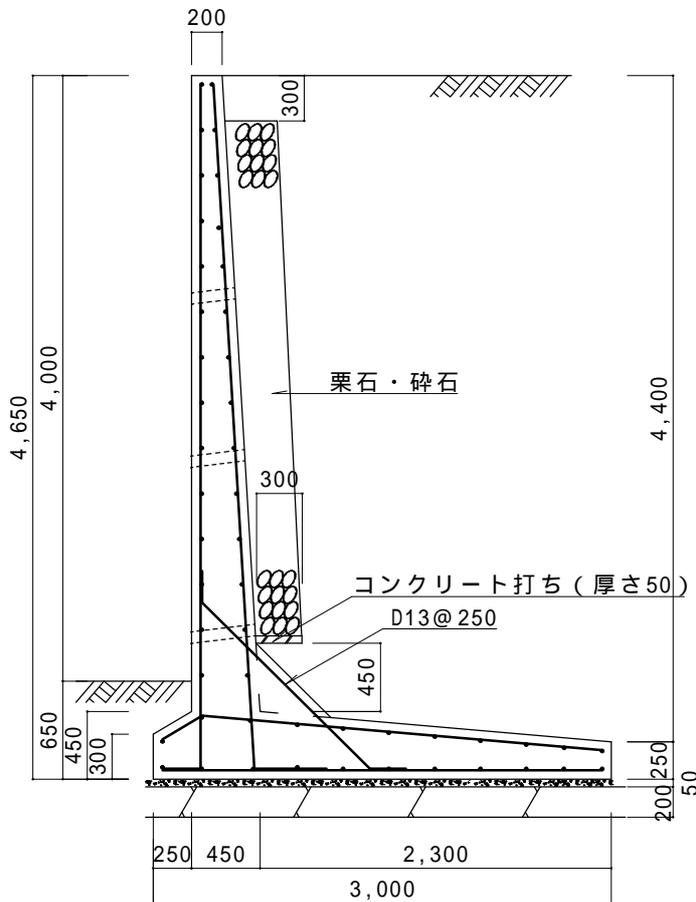
底板配筋図

条件

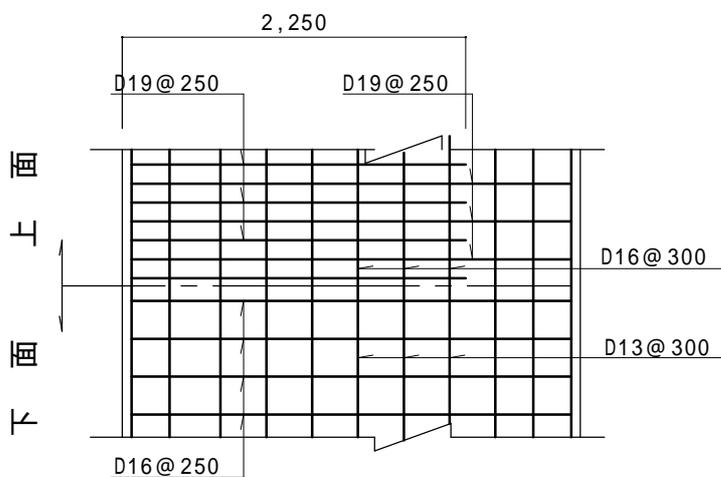
- 1、地耐力 150 KN/m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN/m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN/m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN/m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いたもので3m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設けること。また、水抜孔の入口には吸い出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N/mm<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N/mm<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN/m<sup>2</sup>

# L 型擁壁 高さ 4 . 0 m 砂質土

縮尺 1 / 5 0  
単位 mm



縦壁配筋図



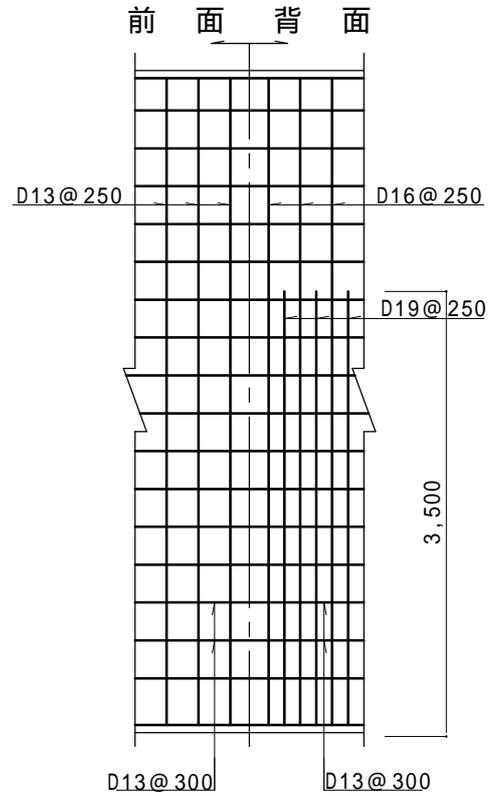
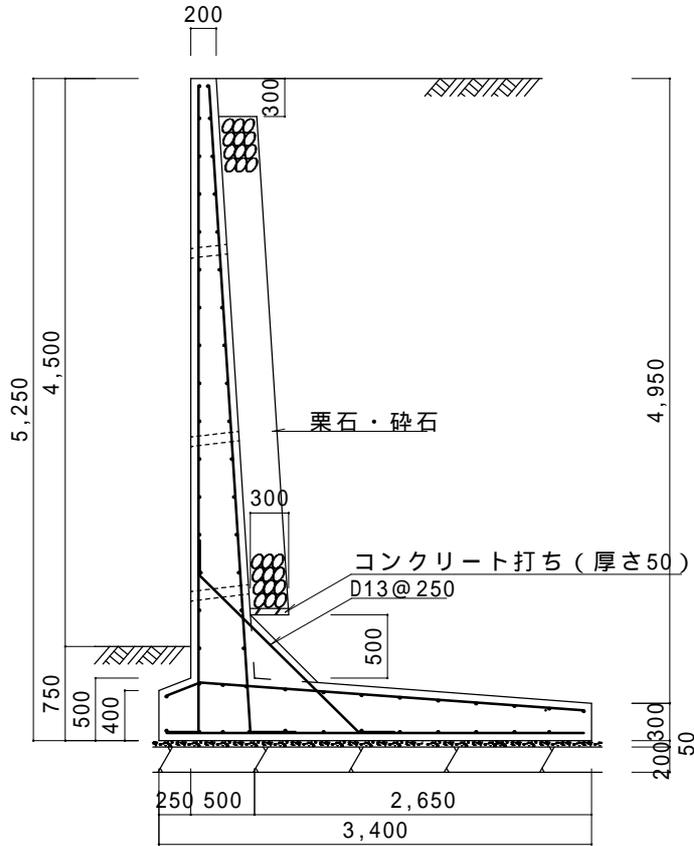
底板配筋図

条 件

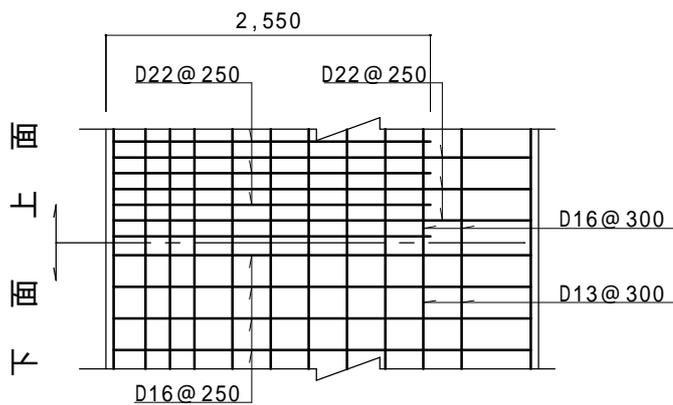
- 1、地耐力 180 KN / m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN / m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いた  
もので3m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設ける  
こと。また、水抜孔の入口には吸い  
出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N / m<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N / m<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN / m<sup>2</sup>

# L型擁壁 高さ4.5m 砂質土

縮尺 1 / 6 0  
単位 mm



縦壁配筋図



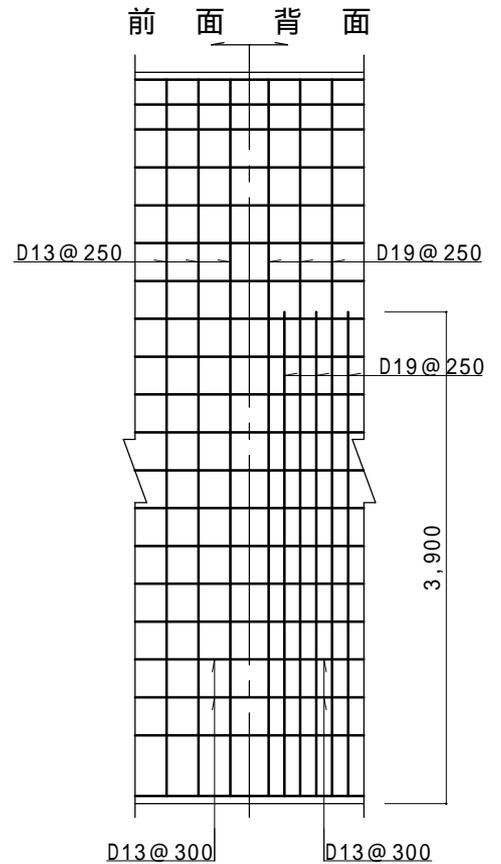
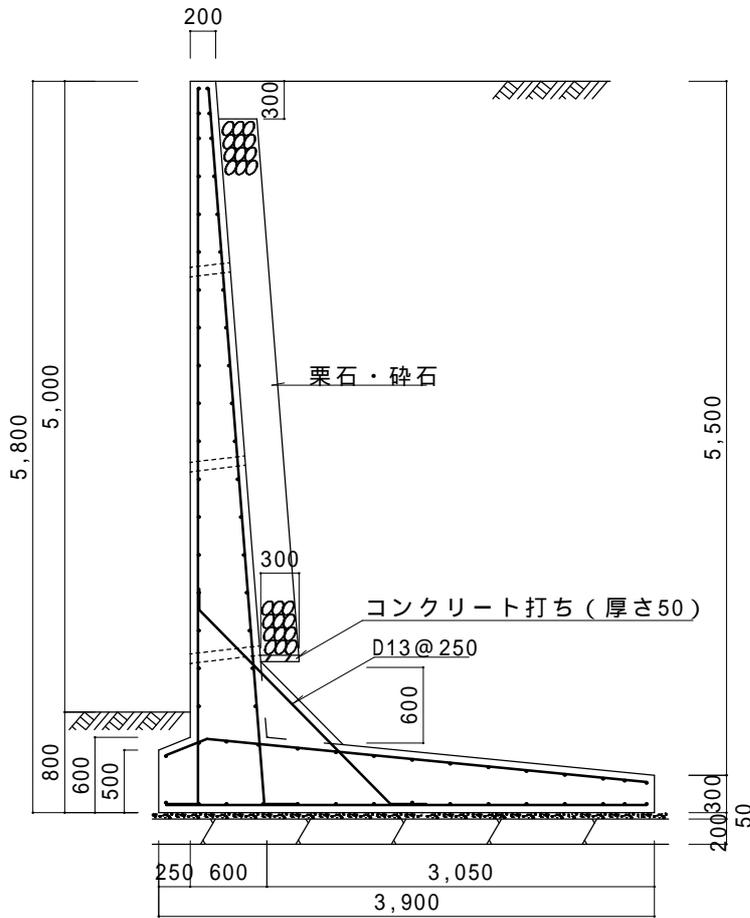
底板配筋図

条 件

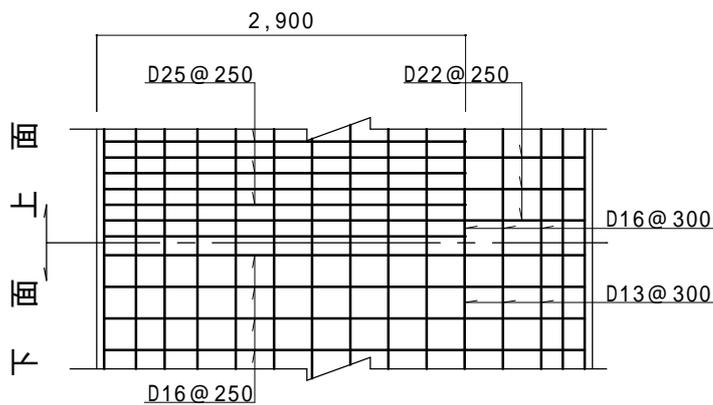
- 1、地耐力 200 KN / m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN / m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いた  
もので3m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設ける  
こと。また、水抜孔の入口には吸い  
出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N / m<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N / m<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN / m<sup>2</sup>

# L型擁壁 高さ5.0m 砂質土

縮尺 1 / 6 0  
単位 mm



縦壁配筋図



底版配筋図

条 件

- 1、地耐力 200 KN / m<sup>2</sup>以上
- 2、背面土  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>  
単位体積重量 17 KN / m<sup>3</sup>
- 3、支持地盤  
内部摩擦角 30°  
粘着力 0 KN / m<sup>2</sup>
- 4、水抜孔は内径75mm以上の塩ビ管  
その他これに類する耐水材料を用いた  
もので3m<sup>2</sup>当り1ヶ所以上設ける  
こと。また、水抜孔の入口には吸い  
出し防止材等を設置すること。
- 5、鉄筋の許容引張応力度  
195 N / m<sup>2</sup>以上
- 6、コンクリートの4週圧縮強度  
21 N / m<sup>2</sup>以上
- 7、上載荷重 10 KN / m<sup>2</sup>